

和泉市公立保育所・幼稚園のあり方(案) 教員委員会会議で継続審議・見直しに

「学校給食の民営化を中止してください。」(和泉市の学校給食をよくする会)の請願)「学校統廃合で、地域から学校を無くさないください。」(和泉市の子どもと教育を守る会)の請願)など、市民団体の願いは取り上げてもらえず、市当局が推進する「民営化」「合理化」が承認されてきた和泉市教育委員会議で、

市当局提案が採択されない事態が発生しています。

民営化統廃合案を継続審議・見直し

11月9日の和泉市教育委員会第11回定例会で採択されなかったのは「公立保育所・公立幼稚園のあり方について(案)」で、現在市内に14か所ある公立保育所・

幼稚園を4か所の拠点施設のみとし、他を統廃合・民営化しようとする市当局の議案です。

会議を傍聴した市民の方から市職員労働組合に寄せられた情報によると、何でもかんでも民間にまかせていいものではない

市担当者からの説明を受けた後の審議で、教育委員の方から「拠点園」という考え方はわからない。「統廃合については、保護者に対して『利便性が変わらない』ということでない」と、(案に対して)「はい」とは言えない。「この内容では保護者・子どもたちに『バラ色の未来』を語ることはできない」「保育所は福祉である。公立園は『最後の砦』としての役割がある。何でもかんでも民間に任せていいものではない。財政的な問題で統廃合するのは納得できない。福祉なんだから赤字覚悟でもやらないといけない」ともある。

保護者と共同して運動の前進を

さらに和泉市職労は「教育委員の発言は保護者や組合の主張と一致する点多く、当局案の矛盾が浮き彫りになりました。市当局の今後の対応は不明ですが、(当局と組合の)協議課題であり、説明を求めるとともに、保護者とも共同してあらためて『あり方(案)』の見直し・撤回を求めていくものです。」としています。

この会議では、「学校適正配置の今後の取組みについて」も報告されていますが、その中で、榎尾中校区・富秋中校区の小中学校の学校統廃合や「施設一体型小中一貫校」の可能性も示唆されています。



号より引用】

～生命の尊さを平和の大切さを伝えたい～

第1部
愛と平和と希望のメッセンジャー
「ゆかいな鍵盤屋」
武京子さんの楽しいステージ
劇の監・演出・Take Five・ほか

第2部
合唱構成
「ぞうれっしゃがやってきた」
原典/小畑俊子 作曲/藤村正一 作詞/岡本功大

チエリスのソプラノ 日くすの踊る日まふ
優よるソプラノ 本舞のぞろが光る
歌謡曲へようこそ ギャグをかしづくだまは
歌謡で魂を ぼつれっしゃよまの
恋しみの日 平和をぎやまらどまを

指揮 森 朝人
ピアノ 西川 友子・小堀 賢子
トランペット 大橋 真子
フルート 坂本 美代子
奏物部長 西川 純一
合 奏 いずみ平野コンサート合唱団

2017年
12月10日(日)
午後1時30分(開場1時)
和泉市
コミュニティーセンター
ホール(3階)
＜和泉市教育委員会＞

入場料
一般/ 1,000円
小・中学生・障がい者/ 500円

主催/和泉愛と平和のコンサート実行委員会 後援/和泉市教育委員会 連絡先/一斉みでし 0725-45-2424

「日刊いずみ」14690

泉北教組は、財政最優先の統廃合に反対し、保護者・地域・教職員の意見を聞くことを求めています。